

相模原の現代史を実感！！～近現代部会の市内巡検～

2006（平成18）年3月6日、近現代部会の部会員8名が市内巡検を行いました。この巡検は2007（平成19）年度刊行予定の現代資料編の調査執筆を担う部会員に、より相模原を実感して資料選択、執筆に役立ててもらうことを目的としています。巡検箇所については部会員の希望により、工業団地誘致運動の成果としての工業団地、基地問題関連としての米軍基地の施設およびその跡地、相模原台地を潤した畑地かんがい跡地等、執筆に関する所が選定されました。

巡検当日、集合場所の相模大野駅（写真上）を午前9時30分に出発。まず徒歩で相模大野公園や相模女子大学周辺を巡り、在日米陸軍医療センター跡や、相模女子大学に今も残っており市の登録文化財である旧陸軍関連施設を見た後、グリーンホール相模大野前からバスに乗りました。

車窓から米軍相模原住宅地区を見てのち、在日米陸軍キャンプ座間の正門へ。そこには警備する警察官もおり、物物しさの中で正門の外からキャンプ座間を見学し、基地の実態を感じ取りました。その後は磯部頭首工へ。耕地を潤した左岸用水の取水口、記念碑を見学し（写真下）、次に田名塩田地区の土地区画整理事業の状況を見た後、テクノパイル田名工業団地を経由してバスは上溝出張所へ。ここから徒歩で、昔から営んでいる商店など上溝の街並を見て回りました。

その後、バスで田名工業団地の新キャタピラー三菱脇を通過して下九沢のさがみはら北の丘センターに午後0時過ぎに到着し、昼食となりました。

昼食後、峡の原工業団地から橋本駅前、大山工業団地を車窓から見て、一路、市役所へ。市役所では展望台に登り、眼前に展開する相模原台地の広がりを感じ取りました。次に、バスは淵野辺から麻布大学へと向かい、陸軍兵器学校跡の碑および相模陸軍造兵廠跡の碑を見学。その後、相模総合補給廠の脇をバスは進み、金網の向こうに広がる相模補給廠を車窓から見ました。（2ページへ続く）



次に、現在、博物館や淵野辺公園があるキャンプ淵野辺跡地へバスは向かいました。ちなみに市史編さん室もこのキャンプ淵野辺跡地の一角にあります。

次に向かったのが相模原ゴルフクラブの敷地内にある、市の登録文化財の「畑地かんがい用水東西分水工」(写真上)。今回、相模原ゴルフクラブのご好意により、事前に申請をした上で見学させていただきました。正門付近にあるクラブハウスから少し離れた、ゴルフ場の奥まった場所に分水工がありました。最後に古淵駅付近の商業施設を車窓から見て、巡検を終了し帰途につきました。



★ ★ ★

後日開催された近現代部会では、「相模原台地を形成する河岸段丘の上段・中段・下段の地域性の違いが感じ取れた」「住宅地に隣接した基地の実態をかいま見ることができた」「久しぶりに市役所の展望台に登ってこの4、5年の街並の変ぼうぶりが感じられた」等の感想が挙がっており、事務局の市史編さん室としては、今回の巡検が今後の資料選択・執筆に役立つものと感じています。

(主任 稲垣 浩久)



陸軍兵器学校跡の碑 (麻布大学付近)



市役所の展望台にて

津久井町史・相模湖町史を販売中

市史編さん室と市役所・津久井総合事務所・相模湖総合事務所の各行政資料コーナーで、販売しています。

【津久井】	価格
ふるさと津久井 第3号～津久井の古地図～	1,000円
ふるさと津久井 第4号～養蚕と織物(1)～	1,000円
津久井町の昆虫 I	1,700円
津久井町史 資料編 近世 1	2,000円
【相模湖】	
相模湖町史 歴史編	14,000円



相模原ものモノ事典⑨

テレビとラジオ

毎日の生活に欠かせない情報源として、テレビやラジオを利用している方も多いのではないのでしょうか。

右上の写真は1971（昭和46）年製のカラーテレビです。この年、NHKの総合テレビが全時間カラー化されました。

市史現代図録編所収の「テレビ・ラジオ受信契約数」によりますと、市内（旧津久井町・相模湖町を除く）のテレビ契約総数は1952（昭和27）年に4件、ラジオが11,193件でした。テレビの普及に伴い、ラジオの受信契約は1967（昭和42）年をもって廃止されています。2001（平成13）年には契約総数は178,076件、この数字には衛星放送の契約が53,843件含まれています。

（相模原市立博物館所蔵）
長瀬義典氏撮影

（主任 方波見 淳）



流れ作業でラジオを生産（上鶴間）
（1960年代後半・相模原市広報課所蔵）

1972（昭和47）年の「戦車闘争」の時には、多くの報道陣が取材に来た。写真はフジテレビのカメラ。右下には、撮影した映像を放送局に送るアンテナも見える。
（相模原市広報課所蔵）



市史編さん室の新しいスタッフです

○篠崎 功（しのざき いさお）室長

4月1日に着任しました。相模原のことはまだまだ知らないことがたくさんありますが、今までの経験を生かし、市史の続編が着実に刊行できるよう他の職員と一緒に努力していきたいと考えています。ご協力、ご声援の程を！

○内山 大介（うちやま だいすけ）調査員

大学・大学院では考古学や民俗学などを学んできました。これから調査員として、自分の専門の内外に関わらず、相模原について広く勉強しながら仕事を進めていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

○山口 悟史（やまぐち さとし）調査員

1月から調査員として勤務しています。専門分野は日本近世史・文化財学です。市史編さんという仕事に携わるのは初めてですが、市民の皆さんに利用してもらえる市史になるように努めていきたいと思っています。



編さん室の動き (3月～4月)



月	日	内 容
3	1	「市史編さんだより第29号」発行 民俗編梅宗寺観音堂調査(写真)
	2	市史協研修会に参加(県立公文書館) 現代編資料調査(農林水産政策研究所・9、14、16、23、28、30日にも実施)
	5	考古部会開催
	6	近現代部会市内巡検(1～2ページに関連記事)
	8	自然編(地形地質分野)資料収集(市役所環境保全課)
	11	市史講演会「日本歴史の中の相模原ー前近代を対象にー」開催 場所：博物館大会議室、講師：神崎彰利特別顧問、参加者：128人
	19	近現代部会開催
	23	民俗部会開催
	24	文化遺産部会開催
	24	自然編(地形地質分野)黒土試料採取
4	4	現代編資料調査(農林水産政策研究所・6、11、13日にも実施)
	13	考古編資料収集(横須賀市個人宅)
	19	廃棄公文書引き抜き作業(市役所書庫)



以下の刊行物を販売しています。お求めは、市史編さん室又は行政資料コーナーへどうぞ。なお、送料実費負担で配送の取扱いもいたします。

刊行物名	価格	大きさ・ページ数	刊行時期
相模原市史現代図録編	1,500円	A4判・296ページ	平成16年11月
相模原市史第1～7巻	1,900～4,500円	B5判・598～842ページ	昭和39～47年
相模原市史ノート創刊号	350円	A5判・112ページ	平成16年3月
相模原市史ノート第2号	700円	A5判・103ページ	平成17年3月
相模原市史ノート第3号	600円	A5判・102ページ	平成18年3月

「さがみはら市史編さんだより」第30号

発行 2006(平成18)年5月2日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19 (市立博物館隣り)

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

ホームページ : <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp> (相模原市トップページ)

(市のプロフィール⇒市史編さんについて、または観光・文化⇒市史編さん の順で御覧になれます。)